発電所敷地内における空気中放射性物質の核種分析結果

(データ集約：

<table>
<thead>
<tr>
<th>採取場所</th>
<th>福島第一</th>
<th>西門</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>試料採取日時刻</td>
<td>約年 月 日 時 分～約時 分</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>検出核種</td>
<td>未検出</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>半減期</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

炉規則告示濃度限度
(別表1第14欄放射線業務従事者の呼吸する空気中の濃度限度)

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

1 0.5 は、0.5 1 0 の同じ意味である。
その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「下」を記載。
福島第一、西門における検出限界値は次の通り。

揮発性の 0.5, 1.0, 1.0 の場合、粒子状の 0.5, 1.0, 1.0 の場合、検出限界値が約 1 になる。
粒子状の 0.5, 1.0, 1.0 の場合、検出限界値が約 1 になる。
ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。
福島第一 西門 ダスト核種分析結果

以降、○○のためプロットデータはありません。